

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月1日

上場会社名 亀田製菓株式会社  
 コード番号 2220 URL <http://www.kamedaseika.co.jp>  
 代表者 (役職) 取締役社長 (氏名) 田中 通泰  
 問合せ先責任者 (役職) 取締役常務執行役員 経営統括本部長 (氏名) 佐藤 勇  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

上場取引所 東

TEL 025-382-2111

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	18,727	—	451	—	521	—	248	—
20年3月期第1四半期	18,486	1.4	820	45.3	876	55.2	436	99.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	11.14	—
20年3月期第1四半期	19.55	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	48,792	26,497	26,497	26,497	54.1	1,183.59
20年3月期	48,201	26,361	26,361	26,361	54.5	1,177.35

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 26,413百万円 20年3月期 26,274百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	36,000	—	420	—	500	—	150	—	6.72
通期	76,000	1.7	3,100	△7.1	3,200	△8.7	1,800	△3.7	80.66

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

新規 1社(社名 KAMEDA USA, INC.) 除外 1社(社名 )

(注) 詳細は、3ページ「定性的情報・財務諸表等」4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ「定性的情報・財務諸表等」4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ「定性的情報・財務諸表等」4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 22,318,650株 20年3月期 22,318,650株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 2,336株 20年3月期 2,046株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 22,316,432株 20年3月期第1四半期 22,318,259株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期においては、原油・原材料等の値上がりが企業収益を圧迫するとともに、米国のサブプライムローン問題や株価の低迷など、金融市場にも不安が高まる中で、国内景気の先行きは不透明感を増す形となりました。

個人消費についても、食品を始めとする生活必需品やガソリンの値上げが影響を与え、生活防衛意識が高まる中で低調に推移いたしました。

このような状況のもとで、当グループはこれまで生産性の向上や業務の効率化により、米菓製品の出荷価格を据え置いてまいりましたが、原材料費やエネルギーコストの上昇が経営努力を上回る水準に達したこと、当面この基調が続くものと予想されたことから、平成20年4月より一部の米菓製品について出荷価格を4%～9%値上げいたしました。米菓市場については、当グループを含む主要企業が相次いで値上げを実施する形となりましたが、業界全体が値ごろ感や商品の品質を損なわないように留意した結果、米菓市場全体は引き続き堅調に推移いたしました。

主力商品では、「まがりせんべい」、「ハッピーターン」、「ぼたぼた焼」、「うす焼」などが好調に推移し、前年同四半期を上回る形となりました。一方で「柿の種」、「海苔ピーパック」などは一時的な特売機会の減少などにより、やや前年同四半期を下回る形となりました。

これらの結果、当第1四半期の売上高は18,727百万円と、前年同四半期を240百万円上回る形となりました。

利益面につきましては、引き続き厳しい原材料コスト環境のもとで利益が減少する形となりましたが、コストダウン活動を積極的に展開したほか、堅調な販売によって稼働が確保されたこともあり、営業利益451百万円、経常利益521百万円、四半期純利益は248百万円と、概ね計画どおりの進捗での実績となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

#### ①流動資産

当第1四半期末における流動資産の残高は、19,071百万円（前連結会計年度比889百万円の増加）となりました。これは主に現金及び預金の増加によるものです。

#### ②固定資産

当第1四半期末における固定資産の残高は、29,721百万円（前連結会計年度比297百万円の減少）となりました。これは主に投資有価証券の評価差額の増加による投資その他の資産の増加の一方、有形固定資産の減少によるものです。

#### ③流動負債

当第1四半期末における流動負債の残高は、14,349百万円（前連結会計年度比539百万円の増加）となりました。これは主に賞与引当金の増加によるものです。

#### ④固定負債

当第1四半期末における固定負債の残高は、7,946百万円（前連結会計年度比83百万円の減少）となりました。これは主に長期借入金の返済による減少によるものです。

#### ⑤純資産

当第1四半期末における純資産の残高は、26,497百万円（前連結会計年度比135百万円の増加）となりました。これは主にその他有価証券評価差額金の増加などによる評価・換算差額等の増加によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費、賞与引当金や売上債権の回収による増加の一方、法人税等の支払い等による減少により、2,106百万円となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資による支出により、△541百万円となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済や配当金の支払いにより、△351百万円となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物は前連結会計年度末と比較して1,176百万円増加し、現金及び現金同等物の四半期末残高は6,177百万円となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、引き続き原材料の高騰基調は続くものと予想されます。また、個人消費の動向につきましても、生活必需品の値上げによる消費マインドの冷え込みが深刻化することが予想されます。

このような状況を踏まえ、当グループは食の安全・安心を最優先としながら、品質の向上とコスト削減の両立に取り組み、お客様のご支持を拡大することに努めてまいります。

これらの取り組みにより、第2四半期連結累計期間および通期の見通しにつきましては、平成20年5月13日公表の予測値から変更ありません。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

平成20年4月1日に、当社の連結子会社として、KAMEDA USA, INC. を設立いたしました。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### 1. 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法は、年度予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法としております。

##### 2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

##### ・会計処理基準に関する事項の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

この変更に伴う営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

3. 当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

この変更に伴う営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

#### (追加情報)

平成20年度の法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、固定資産の耐用年数の見積りの変更を実施いたしました。

これにより営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ25,381千円増加しております。なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

5 . 四半期連結財務諸表  
 ( 1 ) 四半期連結貸借対照表

( 単位 : 千円 )

	当第 1 四半期連結会計期間末 (平成20年 6 月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年 3 月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,960,067	5,776,996
受取手形及び売掛金	8,384,600	9,263,237
製品	938,387	865,820
原材料	534,671	510,627
仕掛品	591,468	491,434
その他	1,668,662	1,281,522
貸倒引当金	6,829	8,039
流動資産合計	19,071,028	18,181,599
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 ( 純額 )	7,950,780	8,096,857
機械装置及び運搬具 ( 純額 )	6,941,542	7,306,648
土地	6,642,902	6,642,902
その他 ( 純額 )	475,490	391,982
有形固定資産合計	22,010,715	22,438,390
無形固定資産		
のれん	109,467	114,227
その他	359,831	356,351
無形固定資産合計	469,299	470,578
投資その他の資産		
その他	7,311,553	7,191,387
貸倒引当金	69,715	80,715
投資その他の資産	7,241,838	7,110,672
固定資産合計	29,721,854	30,019,641
資産合計	48,792,882	48,201,241

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,019,866	4,888,909
短期借入金	2,443,901	2,490,598
未払法人税等	532,522	535,279
賞与引当金	2,000,617	1,305,908
引当金	216,950	258,600
その他	4,135,585	4,330,181
流動負債合計	14,349,443	13,809,477
固定負債		
長期借入金	710,453	810,202
退職給付引当金	6,733,360	6,717,424
引当金	335,493	335,383
その他	166,903	167,053
固定負債合計	7,946,210	8,030,063
負債合計	22,295,654	21,839,541
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,946,132	1,946,132
資本剰余金	486,533	486,533
利益剰余金	23,852,884	23,827,537
自己株式	3,469	3,046
株主資本合計	26,282,080	26,257,156
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	204,222	101,316
繰延ヘッジ損益	36,085	42,125
為替換算調整勘定	109,026	41,827
評価・換算差額等合計	131,282	17,363
少数株主持分	83,865	87,179
純資産合計	26,497,228	26,361,699
負債純資産合計	48,792,882	48,201,241

( 2 ) 四半期連結損益計算書  
( 第 1 四半期連結累計期間 )

( 単位 : 千円 )

	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 6 月30日)
売上高	18,727,198
売上原価	11,319,583
売上総利益	7,407,615
販売費及び一般管理費	6,955,689
営業利益	451,926
営業外収益	
受取利息	2,590
受取配当金	46,046
その他	64,398
営業外収益合計	113,035
営業外費用	
支払利息	9,968
持分法による投資損失	18,572
その他	15,401
営業外費用合計	43,942
経常利益	521,019
特別利益	
貸倒引当金戻入額	2,056
特別利益合計	2,056
特別損失	
固定資産処分損	11,744
減損損失	17,799
その他	9,396
特別損失合計	38,940
税金等調整前四半期純利益	484,136
法人税、住民税及び事業税	545,619
法人税等調整額	311,261
法人税等合計	234,358
少数株主利益	1,264
四半期純利益	248,513

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間  
 (自 平成20年4月1日  
 至 平成20年6月30日)

<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	484,136
減価償却費	631,851
減損損失	17,799
のれん償却額	4,759
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,710
退職給付引当金の増減額(は減少)	15,935
賞与引当金の増減額(は減少)	694,709
引当金の増減額(は減少)	41,539
受取利息及び受取配当金	48,637
支払利息	9,968
持分法による投資損益(は益)	18,572
固定資産処分損益(は益)	8,983
売上債権の増減額(は増加)	876,690
たな卸資産の増減額(は増加)	207,662
仕入債務の増減額(は減少)	137,171
その他	10,016
小計	2,591,012
利息及び配当金の受取額	47,764
利息の支払額	4,624
法人税等の支払額	528,146
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,106,006
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の増減額(は増加)	6,900
有形固定資産の取得による支出	502,318
有形固定資産の売却による収入	2,607
投資有価証券の取得による支出	2,837
その他	31,633
投資活動によるキャッシュ・フロー	541,082
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入金の返済による支出	146,446
自己株式の取得による支出	422
配当金の支払額	205,103
財務活動によるキャッシュ・フロー	351,972
現金及び現金同等物に係る換算差額	36,781
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,176,170
現金及び現金同等物の期首残高	5,000,996
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,177,167

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	菓子の製造 販売事業 (千円)	貨物運送、 倉庫事業 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
I 売上高及び営業損益 売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	17,883,716	626,172	217,309	18,727,198	—	18,727,198
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	280	1,167,594	168,966	1,336,841	(1,336,841)	—
計	17,883,996	1,793,767	386,275	20,064,039	(1,336,841)	18,727,198
営業利益	369,891	76,861	5,172	451,926	—	451,926

(注) 1 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2 各区分に属する主要な事業内容

- (1) 菓子の製造販売事業……菓子の製造販売
- (2) 貨物運送、倉庫事業……貨物運送、倉庫
- (3) その他……自動車の販売・修理、コンピュータソフトウェアの開発・販売、設備等の設計・監理

3 会計処理の方法の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

「定性的情報・財務諸表等」4.(3)2.に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を適用しております。

この変更に伴う営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い)

「定性的情報・財務諸表等」4.(3)3.に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用しております。

この変更に伴う営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

4 追加情報

「定性的情報・財務諸表等」4.(3)(追加情報)に記載の通り、平成20年度の法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、固定資産の耐用年数の見積りの変更を実施しました。

この変更に伴い、従来の方法によった場合と比較して、営業利益は「菓子の製造販売事業」で25,218千円、「貨物運送、倉庫事業」で162千円それぞれ増加しております。

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間(平成19年4月1日～平成19年6月30日)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	18,486,356
II 売上原価	10,988,160
売上総利益	7,498,196
III 販売費及び一般管理費	6,677,476
営業利益	820,720
IV 営業外収益	69,336
V 営業外費用	13,612
経常利益	876,444
VI 特別利益	7,522
VII 特別損失	49,555
税金等調整前四半期純利益	834,411
税金費用	404,280
少数株主損失	6,164
四半期純利益	436,295

## (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第1四半期連結累計期間(平成19年4月1日～平成19年6月30日)

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	834,411
減価償却費	618,152
退職給付引当金の減少額	△49,726
資産・負債の純増減額	1,633,193
その他	△24,519
小計	3,011,512
法人税等の支払額	△869,985
その他	50,376
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,191,903
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の純収支	△1,913
有形固定資産の純収支	△675,505
その他	△24,728
投資活動によるキャッシュ・フロー	△702,147
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
借入金の純収支	△179,251
自己株式の取得による支出	△798
配当金の支払額	△334,108
財務活動によるキャッシュ・フロー	△514,157
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,241
V 現金及び現金同等物の増加額	970,355
VI 現金及び現金同等物の期首残高	4,891,848
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	5,862,204

(3) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（平成19年4月1日～平成19年6月30日）

	菓子の製造 販売事業 (千円)	貨物運送、 倉庫事業 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する 売上高	17,702,182	546,878	237,295	18,486,356	—	18,486,356
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	55	1,183,247	180,212	1,363,515	(1,363,515)	—
計	17,702,238	1,730,125	417,508	19,849,872	(1,363,515)	18,486,356
営業費用	16,961,124	1,659,758	408,268	19,029,151	(1,363,515)	17,665,636
営業利益	741,113	70,366	9,239	820,720	—	820,720

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各分に属する主要な事業内容

(1)菓子の製造販売事業・・・菓子の製造販売

(2)貨物運送、倉庫事業・・・貨物運送、倉庫

(3)その他・・・自動車の販売・修理、コンピュータソフトウェアの開発・販売、設備等の設計・管理